

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00141)

事務事業名称		まちの湯ふれあい入浴			款	04	項	01	目	02	事業	010	整理番号	148	
現担当課名		高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1165		昨年度整理番号	141		
上位施策No・施策名		15 高齢者のいきがい活動の支援							予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和49年度													
	平成26年度担当課名	高齢者施策課			事業評価区分	一般									
	対象	入浴事業は65歳以上の区民と付添者、健康事業は60歳以上の区民			根拠法令等	(1)	老人福祉法第4条第1項及び第13条第1項								
						(2)	杉並区ふれあい入浴実施要綱 杉並区まちの湯健康事業実施要綱								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	ふれあい入浴を利用し、公衆浴場が、高齢者同士の親睦を深め、社会参加や交流を広げることができる憩いの場となるようにする。 まちの湯健康事業に高齢者が参加することで、リフレッシュはもとより、健康増進が図られ、介護予防につながるようにする。			活動指標	ふれあい入浴年間延べ利用者数									
				指標名(1)											
				指標説明	まちの湯健康事業年間延べ参加者数										
				指標名(2)											
				指標説明											
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			成果指標	ふれあい入浴1回当たりの利用者数										
	ふれあい入浴：毎週水曜日(一部火曜日)に各浴場の決められた時間帯(2時間)を100円で開放する。 。まちの湯健康事業：月1~2回、手ぬぐい体操などの健康事業を行う。実施後、参加者は100円で入浴できる。長寿応援ポイント対象事業。			指標名(1)											
				指標説明	年間延べ利用者数÷実施回数										
				指標名(2)											
				指標説明	まちの湯健康事業1回当たりの参加者数										
				指標説明	年間延べ参加者数÷実施回数										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	対計画比(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1	人	83,921	84,000	78,196	74,800	78,628	84,000	105.1					
	活動指標(2)	2	人	5,718	5,700	5,256	5,400	4,819	5,400	89.2					
	成果指標(1)	3	人	60.4	60.0	62.2	59.9	64.3	70.0	107.3					
	成果指標(2)	4	人	17.0	17.0	17.6	17.0	17.7	18.0	104.1					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	52,160	55,698	47,121	49,759	46,137	49,293	平成26年度 予算執行率(%)	92.7				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	52,154	55,614	47,046	49,700	46,083	49,186						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.30	0.30					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	3,480	3,452	3,452	3,524	2,643	2,643					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	55,640	59,150	50,573	53,283	48,780	51,936						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	663	704	647	712	620	618						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	4,201	4,880	3,726	4,380	3,400	4,380					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	4,201	4,880	3,726	4,380	3,400	4,380						
差引：一般財源(14-20)		21	千円	51,439	54,270	46,847	48,903	45,380	47,556						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	148	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		ふれあい入浴		1,221	回	39,283
		まちの湯健康事業		272	回	6,800
	その他（需用費 など）				54	
(2) 事業実績	<p>ふれあい入浴は、休業中を除く全浴場で実施しており、利用者数は平成26年度延べ78,628人でした。平成25年度と比較して、432人増加しました。</p> <p>まちの湯健康事業は、平成26年度は17か所で各浴場毎月1～2回実施しました。実施する浴場数が平成25年度と比較して2か所減少したため、延べ参加人数は減少しました。1回当たりの参加者数は平成21年度10.5人から平成26年度17.7人と増加傾向にあります。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>区内の公衆浴場数は昭和49年度111か所 平成24年度28か所 平成26年度24か所と減少しています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>ふれあい入浴・・・「自宅にお風呂があっても、広いお風呂は気持ちいいので利用している。」「通院日と重なり指定時間に行くことができない。」「一人暮らしの高齢者同士、銭湯に来て健康の確認をし合ったり、世間話をするのが楽しみとなっている。」「週1回以上にしてほしい。」といった声が寄せられています。</p> <p>まちの湯健康事業・・・「とても良いので回数を増やしてほしい。」「利用者が増え、体操に必要なスペースを脱衣所では確保しにくい。」といった声が寄せられています。</p>				
	今後の予測	<p>区内の公衆浴場数は年々減少しています。</p> <p>ふれあい入浴、まちの湯健康事業とも、1回あたりの利用者数が年々増加傾向にあり、今後も増加すると予測されます。</p>				
評価と課題	<p>浴場数は年々減少していますが、ふれあい入浴は区への問い合わせ件数も多く、区民の関心が高い事業で、新規の利用者も徐々に増加していると考えられます。</p> <p>まちの湯健康事業の活動は長寿応援ポイントの対象になることから、参加者が毎年増加傾向にあります。利用者増加に伴い、会場の安全上、予約制を取り入れるなどの対応が必要となっています。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）				
今後の進め方	<p>浴場数が減少する一方で、利用者数の増加が見込まれるため、1か所あたりの利用者数が増えすぎず増加し、安全な事業運営が困難になることが予想されます。各浴場の実績から増加率などを把握し、また実態も踏まえて、安全かつ円滑な事業運営ができるよう改善を進めていきます。</p>					

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00142）

事務事業名称		風呂っと杉並			款	04	項	01	目	02	事業	011	整理番号	149
現担当課名		高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1165		昨年度整理番号	142	
上位施策No・施策名										15 高齢者のいきがい活動の支援		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成13年度												
	平成26年度担当課名	高齢者施策課			事業評価区分 一般									
	対象	60歳以上の区民（平成26年度より、対象年齢を「50歳以上」から「60歳以上」に変更）			根拠法令等	(1)		杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱						
						(2)		杉並区風呂っと杉並事業補助金補助基準						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	公衆浴場を、健康増進や生きがいを目的とした60歳以上の高齢者の自主グループに開放することで、高齢者の活動・交流を推進していく。			活動指標	指標名(1)		風呂っと杉並事業を実施する浴場数						
					指標名(2)									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区内の公衆浴場を60歳以上4名以上のグループに有料（利用料は浴場によって異なる）で開放し、自主的な活動や交流の拠点とする風呂っと杉並事業（杉並浴場組合自主事業）に要する経費について、運営費を助成する。			成果指標	指標名(1)		1所当たりの1か月の利用者数							
					指標名(2)		利用者数÷浴場数÷12か月							
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1 所	9	10	9	9	9	9	100.0					
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3 人	17.4	12	18.1	15	17.0	17	113.3					
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	2,704	2,960	2,831	3,600	3,143	3,545	平成26年度予算執行率(%)	87.3				
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 予算執行率の減は、事業の実施回数が計画を下回ったことによります。					
	(内)委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0						
	職員数	常勤職員数	8 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						0.20
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,740	1,726	1,726	1,762	1,762						1,762
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0						0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0						0
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	4,444	4,686	4,557	5,362	4,905	5,307						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	493,778	468,600	506,333	595,778	545,000	589,667						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0						0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0						0
		都からの補助金等	18 千円	2,025	1,480	1,478	1,800	1,571						1,772
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	2,025	1,480	1,478	1,800	1,571	1,772						
差引：一般財源(14-20)		21 千円	2,419	3,206	3,079	3,562	3,334	3,535						
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	149	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		風呂っと杉並 事業運営費助成	9	所	3,143	
		その他（ ）				
(2) 事業実績	平成26年度は9浴場が風呂っと杉並事業を実施し、回数は303回でした。各浴場で毎月平均3～4回の利用があり、内容は落語や健康体操、手芸など様々です。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区内の公衆浴場数 昭和49年度111か所 平成24年度28か所 平成26年度24か所 風呂っと実施浴場 平成13年度9か所 平成24年度9か所 平成26年度9か所				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	「近所なので集まりやすく、気軽に利用できるのがいい。」といった評価を頂いています。				
	今後の予測	今後、実施浴場数は減少する可能性があります。一方、高齢者人口は増加しているので、活動場所を探している区民は潜在的に存在すると考えられます。効果的なPRで利用者は増加すると予測します。				
評価と課題	利用団体が固定化し、新規の利用者がなかなか得られない実情があるため、適正な事業規模等を検討する必要があります。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	実施浴場数の増加のための対策や地域の活動拠点として認知度を上げるためのPR方法などを、浴場組合と協議していきます。					

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00143)

事務事業名称			いきいきクラブの支援				款	04	項	01	目	02	事業	012	整理番号	150	
現担当課名			高齢者施策課				係名			いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1164	昨年度整理番号	143	
上位施策No・施策名											15 高齢者のいきがい活動の支援		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和33年度															
	平成26年度担当課名	高齢者施策課										事業評価区分	一般				
	対象	杉並区いきいきクラブ 杉並区いきいきクラブ連合会				根拠法令等	(1)		老人福祉法第4条、第13条第2項								
							(2)		杉並区いきいきクラブ助成要綱								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	クラブ会員一人ひとりが社会貢献活動やいきがい活動を積極的におこない、高齢期をいきいき元気に生活できるようにする。 いきいきクラブ及びいきいきクラブ連合会の活動の活性化を推進し、会員増加を支援する。				活動指標	指標名(1)		いきいきクラブ加入者数								
						指標名(2)		指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	いきいきクラブが実施する社会奉仕活動・友愛活動・健康増進活動・生きがい活動等のクラブ活動に対して、各クラブの会員数に応じて、助成する。 いきいきクラブ連合会及び地区連合会が実施する福祉大会・スポーツ大会・健康づくり教室等の事業に対して、助成する。				成果指標	指標名(1)		いきいきクラブ加入率									
						指標名(2)		いきいきクラブ加入者数÷60歳以上の人口(当該年度4月1日現在)									
						指標説明		1か月の社会奉仕活動回数(クラブ当たり)									
						指標説明		社会奉仕活動回数÷全クラブ数÷12月									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)	1	人	6,186	5,850	5,770	5,800	5,612	5,800	96.8							
	活動指標(2)	2															
	成果指標(1)	3	%	4.4	4.1	4.1	4.1	3.9	4.1	95.1							
	成果指標(2)	4	回	13.1	13.0	13.1	13.0	13.6	14.0	104.6							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	26,796	27,653	24,964	26,116	24,060	26,164	平成26年度予算執行率(%)	92.1						
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円	0	19	2	12	11	12								
	職員数	常勤職員数	8	人	1.10	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00							
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円	9,570	8,630	8,630	8,810	8,810	8,810							
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	36,366	36,283	33,594	34,926	32,870	34,974								
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	5,879	6,202	5,822	6,022	5,857	6,030								
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	2,979	3,014	2,735	2,822	2,722	2,822							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	2,979	3,014	2,735	2,822	2,722	2,822								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	33,387	33,269	30,859	32,104	30,148	32,152								
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	150	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		いきいきクラブ助成金（いきいきクラブ連合会・各いきいきクラブ）		70	団体	23,538
		福祉大会・都市交流等事業		1	団体	500
		その他（需用費、役務費）				22
	(2) 事業実績	<p>いきいきクラブ（70クラブ）が、社会奉仕活動や友愛活動（11,463回）、健康増進活動（7,595回）、生きがい活動（9,083回）を実施しました。</p> <p>いきいきクラブ連合会及び地区連合会（10地区）で、福祉大会7回（連合会1回、6地区6回）、スポーツ大会6回（1連合会6回）、健康づくり教室9回（1連合会1回・8地区8回）、東吾妻町とのグラウンドゴルフ大会による交流懇談会等を実施しました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和33年、3クラブで開始。平成5年に会員数のピーク（12,071人）、平成10年にクラブ数のピーク（100クラブ）となりました。</p> <p>平成21年、81クラブ、会員数6,778人（60歳以上人口134,259人、クラブ加入率5.0%） 国及び都の要綱改正に伴い、1クラブあたりの会員数を「50人以上」から「30人以上」に改正</p> <p>平成26年、70クラブ、会員数5,612人（同142,392人、同3.94%）</p> <p>高齢者人口は年々増加していますが、クラブ数及び会員数、60歳以上人口に占める加入率は年々減少しています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>会員から、「高齢者の生きがい活動の場として、いきいきクラブで楽しく活動しています。」「引きこもりの防止となるよう活動を工夫しています。」「また、「会員の高齢化と、若い世代の高齢者が入会しないなどの事情で、クラブ役員を担う後継者がいません。」「という感想や意見があります。</p> <p>一般の方から、「自分の趣味に合うサークル活動をさがしている。」「近所で活動しているサークルの情報を知りたい」などの問い合わせを受け、いきいきクラブを紹介しています。</p>				
	今後の予測	<p>平成26年度当初は70クラブになりましたが、年度末には2クラブの廃止がありました。平成27年4月現在、68クラブとなり、会員の平均年齢は79.5才です。若い世代の高齢者の加入は少なく、会員数は今後も減少すると思われます。</p>				
評価と課題	<p>ゆうゆう館の利用状況や長寿応援ポイント事業の活動登録の実績から、いきいきクラブの活動は高齢者の社会参加に一定の成果をあげています。しかし、高齢化率が上昇しているにもかかわらず、全国的に老人クラブの加入者は減少傾向で、杉並区もクラブ数、会員数とも年々減少しています。老人クラブには介護予防と相互の支えあい期待されていますので、各クラブが気軽に参加しやすい行事を増やし、開かれたクラブになるように努め、新規会員の加入促進に向けた活動をしていくことが必要です。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>いきいきクラブ連合会及びいきいきクラブでは、平成26年から、毎年3%の会員増員という目標を掲げ、町会掲示板にポスターを掲示したり、地域の高齢者に入会の呼び掛けを行い、加入促進に努めています。区でも、引き続き、活性化に向けて、広報活動などの支援をしていきます。また、クラブ活動が円滑に進めるように、会計処理の適切な指導や助言を行います。</p>					

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00144)

事務事業名称		シルバー人材センター支援				款	04	項	01	目	02	事業	013	整理番号	151		
現担当課名		高齢者施策課		係名		いきがい活動支援係		連絡先電話番号		1165		昨年度整理番号		144			
上位施策No・施策名										15 高齢者のいきがい活動の支援		予算事業区分		既定事業			
事務事業の概要	事業開始		昭和53年度														
	平成26年度担当課名		高齢者施策課								事業評価区分		一般				
	対象		公益社団法人杉並区シルバー人材センター		根拠法令等		(1)		高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条								
							(2)		杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		杉並区シルバー人材センターの安定した事業運営を図り、高齢者が就業等を通して、地域の中で生涯現役で活躍できるように支援する。		活動指標		指標名(1)		就業実人員数								
				指標説明		指標名(2)		年度末現在会員数									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行う。		成果指標		指標名(1)		実契約件数									
				指標説明		指標名(2)		月単位で実績のあった受託件数の累計									
				指標説明		指標名(2)		会員の就業率									
				指標説明		指標名(2)		就業実人員数÷月平均会員数									
区分		単位		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度					
				実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)			
指標	活動指標(1)		1 人		2,106		2,240		2,097		2,240		2,024		2,170 90.4		
	活動指標(2)		2 人		3,014		3,200		2,986		3,200		2,896		3,100 90.5		
	成果指標(1)		3 件		8,391		8,648		8,659		8,559		8,262		8,469 96.5		
	成果指標(2)		4 %		68.3		70.0		69.5		70.0		69.9		70.0 99.9		
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		173,709		176,362		171,566		169,524		169,436		176,886 平成26年度予算執行率(%) 99.9		
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0 特記事項		
	(内)委託費		7 千円		0		0		0		0		0		0		
	職員数	常勤職員数		8 人		0.40		0.30		0.30		0.30		0.30		0.30	
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
	人件費	常勤職員分		11 千円		3,480		2,589		2,589		2,643		2,643		2,643	
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0	
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		0		0	
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		177,189		178,951		174,155		172,167		172,079		179,529		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15 円		84,135		79,889		83,050		76,860		85,019		82,732		
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0	
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0	
		都からの補助金等		18 千円		13,130		12,495		12,495		12,495		12,495		12,495	
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0			
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		13,130		12,495		12,495		12,495		12,495		12,495			
差引:一般財源(14-20)		21 千円		164,059		166,456		161,660		159,672		159,584		167,034			
受益者負担比率(16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		151	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単 位	事業費（千円）
		シルバー人材センター運営助成			
		シルバー人材センター運用資金貸付金			5,000
		その他（負担金ほか）			50
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>事業実績は実契約件数8,262件、事業収入944,258千円です。実契約件数の内訳は、ゆうゆう館の協働事業運営等公共的事業116件、民間事業所の事業765件、独自事業51件、一般家庭の事業7,330件です。</p> <p>地域貢献活動である「シルバー孫の手」では、157件のボランティア活動を実施しました。シルバー人材センターの事業周知支援として、広報すぎなみ、区公式ホームページに事業案内記事を計51回掲載しました。</p>			
		<p>総人口（区）に占める60歳以上の区民の割合：昭和54年 8.57% 平成27年4月 26.13%                  シルバー人材センター会員数：昭和54年度 1,280人 平成26年度末 2,896人</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>自転車駐車場やゆうゆう館等の施設利用者を対象に、「公共施設アンケート調査」を昨年と同様に実施し、シルバー人材センターの会員の接客について、概ね良い評価を得ています。</p> <p>清掃、植木剪定、襖・障子の張り替え等の利用者を対象に、利用料の請求書に同封した「お客様満足度調査」でも、良好な評価の回答を多く得ています。</p>			
	今後の予測	<p>平成24年の高齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正により、65歳までの雇用環境が確保される一方、会員数は伸び悩む傾向にあり、また、登録会員は高齢化してきています。未就業会員意向調査結果によると62.9%が「就業意欲が大いにある」と回答していますが、未就業の理由として「希望する仕事がない」と「他で仕事をしている」との回答が約半数となっており、就業機会の確保、開拓が課題となってきます。</p> <p>このような状況の中、「家庭サービス」の受注が伸びており、あらたなニーズをとらえる工夫が必要です。</p>			
評価と課題		<p>厳しい経済状況や企業等における定年後の継続雇用が広がる中、会員数、実契約件数は目標数値に届きませんでした。事業収入と年間就業率が微増となったことは評価できます。</p> <p>また、安全対策基本計画の抜本的な見直しにより、年間事故発生件数を減少させることができたものの、就業途上の交通事故等の傷害事故は増加しており、会員への安全教育の周知徹底が望まれます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>入会申込者の入会動機をみると、「生きがい、社会参加」や「健康維持・増進」を挙げる方が多く、センター事業の二本柱のひとつである「地域貢献活動」への意欲がうかがえます。</p> <p>新しい地域貢献活動として平成25年1月から開始した「シルバー孫の手」事業の周知、利用拡充を図るため、区としても引き続き広報や町会、民生委員への紹介等、支援していきます。</p> <p>受託件数、事業収入の増加のために、住宅地域であり、子育て世帯も増加しているという杉並区の特性に則したニーズを掘り起こし、家庭・育児サービスの裾野を広げていくことができるような、PRと周知に努めていきます。</p>			

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00145)

事務事業名称 高齢者いきがい活動支援			款 04	項 01	目 02	事業 014	整理番号 152			
現担当課名 高齢者施策課		係名 いきがい活動支援係			連絡先電話番号 1164	昨年度整理番号 145				
上位施策No・施策名 15 高齢者のいきがい活動の支援						予算事業区分 既定事業				
事業開始 昭和58年度										
平成26年度担当課名 高齢者施策課							事業評価区分 一般			
対象 概ね60歳以上の区民 ただし、高齢者の就業・社会参加支援は、概ね55歳以上の在住・在勤者		根拠法令等 (1) (2)		老人福祉法第4条 杉並区杉の樹大学事業実施要綱 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館設置条例						
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が生きがいを高める活動・学習・就業の場を利用して、地域の中で生涯現役で健康に暮らしていけるようにする。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		支援対象の地域活動団体数  高齢者の就職成立件数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 地域のNPO法人・団体等が行う高齢者のいきがい、健康づくり、パソコン教室等の講座の開催を支援する。 地域で役に立ちたい高齢者を社会貢献スタッフとして登録し、地域の求めに応じて講師として派遣する。さらに、社会貢献スタッフの活動に役立つ技術・技能を習得するための研修会を実施する。 杉の樹大学をNPO法人に委託し開催する。 高齢者の就業・社会参加支援をNPO法人に委託し実施する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		杉並区後援の地域貢献事業の開催回数  社会貢献スタッフ年間延べ派遣人数					
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	平成26年度 計画 (目標値)	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 団体	12	14	9	12	12	12	100.0	
	活動指標(2)	2 回	20	21	23	25	23	25	92.0	
	成果指標(1)	3 回	164	150	149	150	159	160	106.0	
	成果指標(2)	4 人	1,273	1,200	1,261	1,200	1,294	1,300	107.8	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	6,451	6,605	6,381	6,570	6,202	6,464	平成26年度 予算執行率(%) 94.4	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	6,340	6,359	6,344	6,354	6,172	6,108		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.90	0.90	0.90	0.90	0.80	0.70	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	7,830	7,767	7,767	7,929	7,048	6,167	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	14,281	14,372	14,148	14,499	13,250	12,631		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	1,190,083	1,026,571	1,572,000	1,208,250	1,104,167	1,052,583		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	3,208	3,261	3,190	3,243	3,100	3,231	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	3,208	3,261	3,190	3,243	3,100	3,231		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	11,073	11,111	10,958	11,256	10,150	9,400		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	152	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		杉の樹大学		1	所	3,420
		高齢者の就業・社会参加支援		1	所	2,744
	その他(報償費、需用費、役務費)					38
(2) 事業実績	<p>杉の樹大学事業は、本科32講座(受講生60人)、専科5講座(受講生90名)、健康講座1回5講座(延べ135人)、公開講座2回2講座(延べ236人)を実施しました。                      高齢者の就業・社会参加支援は、個別相談30回(延べ88人)実施、職業能力アップ講座等36回(延べ545人参加)開催しました。                      社会貢献スタッフの講師活動(主にてぬぐい体操、健康エアロビクス)は、ゆうゆう館の自主グループ・協働事業、まちの湯健康事業等で継続実施しています。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合)                      昭和50年7.42%、平成元年11.44%、平成20年18.68%、平成24年19.75%、平成26年20.7%                      杉の樹大学事業は、昭和59年に開始しました。平成15年からNPO法人に事業委託し、平成24年度からは公募型プロポーザル方式により事業者を選定の上、運営を委託しています。</p>				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>杉の樹大学は、「新しい仲間と出会えた、充実した一年を過ごすことができた、学びから知り得た知識を地域のボランティア活動に活かしていきたい」など、受講生の評価は好評で、「もう1年通いたい」という要望もあります。                      社会貢献スタッフの講師活動(主にてぬぐい体操、健康エアロビクス)は、需要も高く、利用者にも好評です。</p>				
	今後の予測	<p>高齢者人口は年々増加しています。高齢者一人ひとりが安心できる地域との繋がりを持つ事業を開催したり、地域に出ていくきっかけを提供し、生きがいを見つけ、高めていけるよう支援していきます。                      高齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正により、65歳までの雇用環境は確保されましたが、生涯現役で充実して過ごせるよう、様々な社会参加を求める高齢者は、増加すると考えられます。</p>				
評価と課題		<p>高齢者の就業・社会参加支援は、パソコン教室等のスキルアップにつながるような講座には定員以上の申込みがある一方、講演会や就業に向けての心構えといった座学は人気が少ない傾向があります。高齢者の就労ニーズは高まっており、より魅力ある実践的な講座を提案していくことが課題です。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
	今後の進め方	<p>杉の樹大学事業は、平成27年度に公募型プロポーザルにより、平成28年度から3年度間の受託事業者を選定します。</p>				

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00161)

事務事業名称 高齢者活動支援センター事業運営			款 04	項 01	目 02	事業 032	整理番号 168			
現担当課名 高齢者施策課		係名 施設担当係	連絡先電話番号 1153		昨年度整理番号 161					
上位施策No・施策名 15 高齢者のいきがい活動の支援					予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和58年度								
	平成26年度担当課名	高齢者施策課		事業評価区分 一般						
	対象	60歳以上の区民で構成される10名以上の団体(ゲートボール場) 60歳以上の区民及び高齢者活動団体		根拠法令等 (1) (2)	杉並区高齢者ゲートボール場管理運営要綱 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者活動支援センターを運営し、高齢者の生涯現役社会の地域拠点として、健康増進、教養の向上などを図る。 スポーツ活動(ゲートボール)を通して高齢者の社会参加の機会を拡充し、元気高齢者の増加を図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	高齢者活動支援センター登録団体数 ゲートボール登録団体数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	高齢者の活動拠点として、高齢者活動支援センターの運営を指定管理者により行う。 高齢者の健康増進及び高齢者団体の活動支援のため、高齢者ゲートボール場を管理・運営する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	高齢者活動支援センター利用率 講座室等利用回数÷利用可能枠数 ゲートボール場利用率 利用回数÷利用可能枠数					
区分		単位	平成24年度実績	平成25年度計画	平成25年度実績	平成26年度計画(目標値)	平成26年度実績	平成27年度計画	平成26年度対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 団体	50	60	57	60	75	80	125.0	
	活動指標(2)	2 団体	21	18	18	18	18	17	100.0	
	成果指標(1)	3 %	42.6	50.0	53.9	60.0	71.9	75.0	119.8	
	成果指標(2)	4 %	45.5	60.0	48.0	50.0	47.0	50.0	94.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	283	452	355	455	226	324	平成26年度予算執行率(%) 49.7	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 予算執行率の減は、平成26年度から高齢者活動支援センター運営協議会を廃止したため、委員への謝礼金の支出が不要となったことと、ゲートボール場建物管理委託料の落差金82,976円発生したことによります。	
	(内)委託費	7 千円	190	269	200	275	192	274		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.41	0.44	0.27	0.27	0.29		0.27
		再任用職員数	9 人	0.20	0.20	0.05	0.16	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	3,567	3,797	2,330	2,379	2,555		2,379
		再任用職員分	12 千円	786	772	193	648	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	4,636	5,021	2,878	3,482	2,781	2,703		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	92,720	83,683	50,491	58,033	37,080	33,788		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
国からの補助金等		17 千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等		18 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	4,636	5,021	2,878	3,482	2,781	2,703		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 168			
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		高齢者ゲートボール場清掃等委託			
		その他（光熱水費 ほか）			34
事業環境の変化	(2) 事業実績	<p>高齢者ゲートボール場の維持管理を行いました。また、ゲートボール場を利用する団体の抽選会を実施しました。</p>			
	事業開始当初から現在までの変化	<p>全国的にゲートボール人口は減少傾向にあり、高齢者ゲートボール場登録団体数は平成12年度の29団体をピークに減少し、平成18年度には17団体となりました。その後、増加に転じ、平成24年度は21団体が登録していましたが、平成25年度は18団体へと減少し、平成26年度も同数の登録団体となっています。</p> <p>高齢者活動支援センターは昭和58年の開設ですが、隣接する杉並清掃工場の建替工事に伴い、大規模改修工事を実施し、改修後の平成24年5月からは、運営をより効果的、効率的に行い、利用者にとってより一層利用しやすい施設とするため、指定管理者制度を導入しました。</p>			
事業環境の変化	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>高齢者活動支援センターの浴室の清掃時間の導入に対する意見が寄せられました。高齢者ゲートボール場利用団体から施設の清掃について、要望が寄せられました。</p>			
	今後の予測	<p>高齢者人口が増加することに合わせて、スポーツなどを通じた社会参加の機会の拡充を希望する高齢者が増加しています。また、高齢化が進行しているため、高齢者ゲートボール場のグラウンド整備など、ゲートボール場利用団体で自主管理することとなっている部分についても区が行う必要が出てくることが予想されます。</p> <p>幅広い年齢層が利用・交流できる、にぎわいと活気ある施設、地域の拠点としての高齢者活動支援センターの役割が求められることが予想されます。</p>			
評価と課題		<p>指定管理者での運営に変更後、施設の円滑な運営を行うため、地域の代表者などで組織する「地域懇談会」を行い、幅広い世代が利用しやすいよう意見交換を行い、運営を行っています。</p> <p>多目的室の稼働率は80%を超え、非常に高い稼働率で推移しています。講座室の稼働状況については、第3講座室がシルバー人材センターの事務室に用途変更になったことも影響し、稼働率は65%まで増えました。多目的室と合わせて、平均72%となり多くの方に利用されています。</p> <p>高齢者ゲートボール場については、利用団体の自主的な管理の他に、区がどこまで管理の手助けを行い、利用しやすい状態を維持していくのが課題となっています。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	実施主体の見直し		
今後の進め方		<p>高齢者活動支援センターは、指定管理者による運営が定着してきました。今後は、運営面の改善について、利用者の意見なども取り入れながら行っていきよう、指定管理者と協議を行っていきます。</p> <p>高齢者ゲートボール場については、利用団体での自主的な管理の必要性がある事を認識しつつ、区も手を携えて進めていく必要があります。</p>			

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00162)

事務事業名称		ゆうゆう館の運営				款	04	項	01	目	02	事業	033	整理番号	169		
現担当課名		高齢者施策課		係名		施設担当係		連絡先電話番号		1153		昨年度整理番号		162			
上位施策No・施策名										15 高齢者のいきがい活動の支援		予算事業区分		既定事業			
事業開始		昭和38年度		実行計画事業		目標		04		施策		15		計画事業		01	
平成26年度担当課名		高齢者施策課										事業評価区分		一般			
対象		60歳以上の区民及びゆうゆう館協働事業参加者 NPO法人等の協働事業実施団体				根拠法令等		(1)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例							
								(2)		老人福祉法							
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		協働事業実施回数										
	NPO法人等との協働により、効率的かつ魅力あるゆうゆう館の管理運営を行う。				指標名(1)												
					指標説明		協働事業年間参加者数										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		ゆうゆう館の受付業務及び館清掃等をNPO法人等に委託する。効率的かつ魅力あるゆうゆう館として運営していくため、評価委員会を開催し、ゆうゆう館協働事業実施団体に対する評価を行う。新たにゆうゆう館の協働事業実施団体を選定するため、選定委員会を開催する。ゆうゆう館の円滑な運営のため、運営団体と意見交換を行う。				成果指標		ゆうゆう館部屋稼働率									
						指標名(1)		使用した回数÷使用可能枠数									
						指標名(2)		協働事業参加者の満足度									
						指標説明		(大いに満足+満足)÷参加者数 利用者アンケート結果より									
区分		単位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)	1	館	8,968	9,000	9,311	9,500	9,798	9,900	103.1							
	活動指標(2)	2	人	98,866	100,000	104,645	110,000	110,653	111,000	100.6							
	成果指標(1)	3	%	41.4	45.0	42.0	45.0	44.0	45.0	97.8							
	成果指標(2)	4	%	88.3	90.0	89.5	90.0	90.5	90.0	100.6							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	242,179	242,202	241,522	248,517	246,859	265,862	平成26年度 予算執行率(%)	99.3						
	(内)投資的経費等	6	千円	499	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円	241,089	241,591	241,059	242,515	241,762	259,867								
	職員数	常勤職員数	8	人	1.86	2.10	2.16	2.03	2.06	2.04							
		再任用職員数	9	人	0.30	0.50	0.13	0.42	0.52	0.12							
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.80	0.70	0.80							
	人件費	常勤職員分	11	千円	16,182	18,123	18,641	17,884	18,149	17,972							
		再任用職員分	12	千円	1,179	1,930	502	1,701	2,106	486							
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	2,264	1,981	2,264							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	259,540	262,255	260,665	270,366	269,095	286,584								
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	28,885	29,139	27,995	28,460	27,464	28,948								
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	493	239	239	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	493	239	239	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	259,047	262,016	260,426	270,366	269,095	286,584								
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	169	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		ゆうゆう館受付等業務委託（うち協働事業館32館）		32	館	241,666
		協働事業館支援事業（備品・消耗品購入）		32	館	5,023
		ゆうゆう館評価委員会及び選定委員会開催		5	回	170
	その他（ ）					
(2) 事業実績	<p>32館で年間9,798回の協働事業が行われ、延11万人を超える参加者がありました。ゆうゆう館を利用した人数も延429,061人にも達し、年々利用者数が伸びてきています。</p> <p>運営団体の実施状況については、平成21年度及び平成24年度にゆうゆう館協働事業を開始した9団体と前年度に再評価となった1団体を対象に評価委員会を2回開催しました。</p> <p>また、平成18年度に協働事業を開始した7団体を対象に、協働事業実施団体の募集を行いました。16団体の応募があり、選定委員会を3回開催し、7団体の選定を行いました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>受付等業務委託は、平成18年度の時点では16館（うち協働事業館9館）で行っていました。平成23年度から区内32箇所あるゆうゆう館の全てが受付等業務委託館及び協働事業実施館となりました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>館の管理運営については順調に行われており、受託団体の接客姿勢についてもアンケートの意見や直接、利用者からも満足との評価もいただいています。また、協働事業を幅広く実施し、利用者のニーズに合わせて行うなど、利用者数は増加傾向にあります。ただし、従来からゆうゆう館を利用していた高齢者団体等からは、希望する日時での自主活動がやりづらくなったなどの苦情も寄せられています。</p>				
	今後の予測	<p>区立施設再編整備計画では、ゆうゆう館は多世代が利用できる地域コミュニティ施設への転用・再編整備を進めていくこととなっています。身近な地域で高齢者が気軽に集まることができるゆうゆう館の機能と役割は継承することとなっているため、これまでと同様に地域の高齢者のニーズを把握し事業を企画することや各ゆうゆう館の特性を活かした事業の企画などを進めていくことが求められます。</p> <p>そのため、ゆうゆう館が継続的に安定して運営できるよう、運営団体の評価及び選定を通して、必要な支援や指導を行うことが区に求められます。</p>				
評価と課題	<p>現在、ゆうゆう館全館において協働事業を行っており、このことが果たす役割の大きさを認識しつつ、地域に根差した施設として高齢者の満足度がさらに上がるよう運営を行う必要があります。</p> <p>また、区立施設再編整備計画では、平成31年度から地域コミュニティ施設への転用・再編整備を進めていく計画となっており、継承するゆうゆう館の機能について十分な検討が必要です。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>ゆうゆう館の機能と役割、多世代が利用する施設とすることのメリット・デメリットなど十分な検討が必要となっています。現在の運営方法の優れている点、果たしている役割の重要性など、施設再編整備計画で計画されている内容が適正か否かが計画のローリングに向けて検討を重ね、より良い施設運営ができるようにする必要があります。</p>					

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00163 ）

事務事業名称		三療サービス			款	04	項	01	目	02	事業	034	整理番号	170	
現担当課名		高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1165		昨年度整理番号	163		
上位施策No・施策名										15 高齢者のいきがい活動の支援		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和48年度													
	平成26年度担当課名	高齢者施策課											事業評価区分	一般	
	対象	60歳以上の区民			根拠法令等	( 1 )		杉並区三療サービス事業実施要綱							
					根拠法令等	( 2 )									
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	マッサージを受け、高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進を図り、いきいきと暮らせるようにする。			活動指標	指標名（ 1 ）		三療サービス利用者数							
				指標説明			24年度までゆうゆう館と高齢者活動支援センター利用人数合計。25年度以降はゆうゆう館の利用人数のみ								
				指標名（ 2 ）											
				指標説明											
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	ゆうゆう館で行うマッサージ・はり施術を「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。高齢者活動支援センターでは、指定管理者が同協議会に再委託して実施する。			成果指標	指標名（ 1 ）		利用率								
				指標説明			利用者数 ÷（当該年度4月1日付け）60歳以上の区民								
				指標名（ 2 ）											
				指標説明											
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	96.3					
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（ 1 ）	1 人	5,110	5,000	5,036	5,760	5,039	5,760	87.5						
	活動指標（ 2 ）	2													
	成果指標（ 1 ）	3 %	3.6	3.5	3.5	4.0	3.5	4.0	87.5						
	成果指標（ 2 ）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	12,455	12,727	12,381	12,848	12,372	12,736	平成26年度予算執行率（%）						
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 予算執行率の減は、浴場組合が見込んだ年度当初の実施予定回数より、実施回数が少なかったため。						
	（内）委託費	7 千円	12,137	12,381	12,053	12,394	11,919	12,368							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.40	0.30	0.30	0.30	0.32		0.30					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00					
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	3,480	2,589	2,589	2,643	2,819		2,643					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0					
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		0					
	総事業費	14 千円	15,935	15,316	14,970	15,491	15,191	15,379							
	単位あたりコスト	15 円	3,118	3,063	2,973	2,689	3,015	2,670							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0					
		都からの補助金等	18 千円	6,363	6,364	6,363	6,383	6,185		6,380					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20 千円	6,363	6,364	6,363	6,383	6,185	6,380							
差引：一般財源		21 千円	9,572	8,952	8,607	9,108	9,006	8,999							
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	170
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		三療サービス（ゆうゆう館）事業委託	5,039	人	10,488
		役務費（洗濯料、敷布団等乾燥）			1,431
		その他（需用費）			453
	(2) 事業実績	<p>ゆうゆう館全32館を利用し、月40回、年間480回実施しています。26年度の実績5,039人中、女性が3,397人（67.4%）です。はりとマッサージの希望制ですが、4,413人（87.6%）がマッサージを希望しています。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>ゆうゆう館 平成23年度5,067人 24年度4,931人 25年度5,036人 26年度5,039人 ゆるやかな減少傾向にあります。 高齢者活動支援センター 平成23年度2,349人 24年度179人（4月のみ） 高齢者活動支援センターは24年5月以降は指定管理者制度に移行し、事業予算は指定管理料から支出することとなりました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>現在、ゆうゆう館では原則として施術は1月あたり1回しか受けられないので、利用できる回数を増やしてほしいとの要望があります。 施術者の待遇に対して、苦情が年間数件寄せられます。</p>			
	今後の予測	<p>民間では、10分刻みといった短時間枠で、しかも低廉なマッサージサービスを提供する事業者もあらわれています。こうした事業者は駅前などの繁華街に限られるものの、ゆうゆう館や高齢者活動支援センターといった公的施設での事業のあり方が問われる可能性があります。</p>			
	評価と課題	<p>利用者には好評な施術ですが、利用者が固定化していることや、施術者の対応の仕方で人気の度合いに差があり、予約が少ない館があります。特定の人だけでなく、より多くの方に利用していただくために、広報やゆうゆう館での周知活動を一層行っていく必要があります。 また、利用者には介護予防事業の普及啓発をPRし、施術者には技術力の向上を支援するとともに、接遇力の改善を求める必要があります。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し		
	今後の進め方	<p>年1回の広報掲載や、館ごとのPRを行っていきます。また、利用者に対して、介護予防事業の普及啓発を実施し、高齢者の健康増進を目指します。 施術者の技術向上、接遇改善のため、協議会が実施する技術・接客向上のための研修会を支援していきます。</p>			

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00164)

事務事業名称		敬老事業		款	04	項	01	目	02	事業	035	整理番号	171
現担当課名		高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係				連絡先電話番号	1165		昨年度整理番号	164
上位施策No・施策名		15 高齢者のいきがい活動の支援							予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和25年度											
	平成26年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般			
	対象	75歳以上の高齢者 75歳、81歳、100歳以上の高齢者		根拠法令等	(1)		老人福祉法第4条、5条、第13条第1項						
				根拠法令等	(2)		杉並区敬老事業実施要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	対象者が、後期高齢期を健やかに過ごし、これからの活動への意欲が高められるようにする。		活動指標	指標名(1)		敬老会参加者数						
			活動指標	指標名(2)		祝い品贈呈者数(75歳、81歳、100歳以上)							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。 対象者に敬老祝い品(75歳、81歳)、長寿祝い品(100歳以上)を贈呈(戸別配送)する。 在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつには区長が訪問し、直接贈呈を行う。		成果指標	指標名(1)		敬老会来場率							
			成果指標	指標名(2)		来場者÷対象者数							
			成果指標	指標名(2)		祝い品交換率							
			成果指標	指標名(2)		交換者÷対象者数							
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)				
指標	活動指標(1)	1 人	4,343	5,000	4,192	5,000	3,857	5,000	77.1				
	活動指標(2)	2 人	8,418	8,500	8,302	8,800	8,212	8,900	93.3				
	成果指標(1)	3 %	7.3	8.6	7.3	9.0	6.6	8.4	73.3				
	成果指標(2)	4 %	98.7	100.0	98.6	100.0	98.6	100.0	98.6				
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	33,816	37,391	31,759	35,011	32,009	37,189	平成26年度予算執行率(%)	91.4			
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	7 千円	11,227	9,695	9,264	10,363	10,037	8,465	執行残の理由:敬老祝い品の購入予算額と確定額の差額による残				
	職員数	常勤職員数	8 人	1.90	1.90	2.00	1.90	1.90	1.80				
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	人件費	常勤職員分	11 千円	16,530	16,397	17,260	16,739	16,739	15,858				
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0				
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	50,346	53,788	49,019	51,750	48,748	53,047					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	11,592	10,758	11,693	10,350	12,639	10,609					
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18 千円	7,056	6,452	6,124	6,830	6,353	5,905				
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	7,056	6,452	6,124	6,830	6,353	5,905					
差引:一般財源(14-20)		21 千円	43,290	47,336	42,895	44,920	42,395	47,142					
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	171	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		敬老会開催		3,857	人	12,856
		敬老祝い品贈呈		8,293	人	19,153
		その他（ ）				
(2) 事業実績	75歳以上の高齢者を対象に、杉並区敬老会を2日間計6回開催しました。内容は式典と演芸（ピアノとトーク・歌：青島広志・小野勉、オカリナ：宗次郎）を行いました。敬老祝い品は75歳81歳の方にカタログギフトによる祝い品を贈り、100歳以上の方にカタログギフト、音声拡張器、肌着セットから1点選択していただく形で祝い品を贈りました。さらに、在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつを区長が訪問し、直接祝い品を贈呈しました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業（敬老会）を開始した当時は娯楽の少ない時代でしたが、現在は日常的に趣味や娯楽を楽しむ時代です。75歳以上の高齢者人口（区総人口に対する比率）は、昭和27年2,993人（0.8%）、昭和45年9,761人（1.8%）、昭和55年17,100人（3.2%）、平成26年57,639人（10.4%）、平成27年の58,012人（10.55%）へと推移しています。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	敬老会の開催内容については、第二部のプログラムを、平成26年度は、ピアノとトーク・歌、オカリナにしました。平成25年度に落語とコントを実施し事業実施後の感想はおおむね良いものでしたが、「お笑いも面白いから、音楽が良い」「歌謡ショー」という意見を受け、平成26年度の内容を企画しました。平成26年度実施後には、引き続き「歌謡ショー」を希望する意見も多く、平成27年度は、その意見を反映させた内容で企画しています。敬老祝い品のカタログギフトは、個人の嗜好に合わせて商品を選択できるので、対象者になるのを楽しみにしているという声が多数あります。少数ですが、祝い品は必要ないという意見や区内共通商品券、現金、寄付を希望する声もあります。				
	今後の予測	高齢化に伴い、毎年、対象者は増加していきます。現在の敬老事業の内容では対応しきれなくなる可能性があり、内容の見直しが必要となってきます。				
評価と課題	敬老会では、平成15年から歌謡ショーを行っていましたが、平成25年は落語とコント、平成26年度はピアノとトーク・歌、オカリナを行いました。クラシックコンサートや学術講演を希望するなど、興味関心は多様化しています。また対象者の増加により、内容や座席数などの対応が困難になる可能性があり、参加者の安全を考慮した事業の見直しが必要です。 敬老祝い品（75・81歳）の対象年齢や内容は区民に定着しており、交換率から推測しても、概ね好評と言えます。100歳以上の祝い品に関しても毎年対象者になる方については同じ内容が続いていますが、交換率も良く好評です。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）				
今後の進め方	敬老事業は区民の関心が高く、毎年楽しみにされている方が多くいますが、対象者の増加により様々な要望があり、従前通りの事業形態の継続が難しくなりつつあります。他自治体も同じ理由で事業の見直しを行っており、杉並区も対象者人数の増加傾向や区民の意向を把握し、今後の事業に反映していく必要があります。					

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00165）

事務事業名称			長寿応援ポイント事業				款	04	項	01	目	02	事業	036	整理番号	172
現担当課名			高齢者施策課				係名			長寿応援ポイント担当係			連絡先電話番号	1166	昨年度整理番号	165
上位施策No・施策名											15 高齢者のいきがい活動の支援		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成21年度	実行計画事業 目標 04 施策 15 計画事業 02				主要事業（区政経営報告書掲載事業）									
	平成26年度担当課名	高齢者施策課										事業評価区分		一般		
	対象	地域貢献活動、健康増進活動等は60歳以上の区民 いきがい活動は、75歳以上の区民				根拠法令等	(1)	杉並区長寿応援ポイント事業実施要綱								
							(2)	杉並区長寿応援ポイント事業運営懇談会開催要綱								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	高齢者の外出を促し、高齢者自身の健康増進やいきがいの向上を図る。さらにその活動が社会参加につながり、地域包括ケアの取り組みの中でお互いや地域の人々の「支えあい」が進展することを目指す。				活動指標	指標名（1）	活動登録グループ件数（累計）								
						指標説明	ポイント交換者数									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区が認定した「地域貢献活動」等へ高齢者が参加したときポイントを配布する。ためたポイントは、地域貢献活動団体の助成を行うため設置した長寿応援ファンドへの寄付および区内共通商品券の交換にあてる。 円滑な事業運営を図るため、長寿応援ポイント事業運営懇談会を設置する。 業務は民間事業者への委託により行う。				成果指標	指標名（1）	週2回以上外出している高齢者の割合									
						指標説明	区民意向調査による									
						指標名（2）	指標説明									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	対計画比(%)						
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画								
指標	活動指標（1）	1 件	1,210	1,750	1,267	1,370	1,327	1,470	96.9							
	活動指標（2）	2 人	5,370	5,500	6,241	6,500	6,977	7,500	107.3							
	成果指標（1）	3 %	85.2	90.0	89.2	90.0	90.2	90.0	100.2							
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	73,001	79,228	78,438	81,584	78,940	83,475	平成26年度 予算執行率(%)	96.8						
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内) 委託費	7 千円	30,094	31,848	31,840	34,866	34,843	35,026								
	職員数	常勤職員数	8 人	2.20	2.00	2.10	2.00	1.90	1.40							
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円	19,140	17,260	18,123	17,620	16,739	12,334							
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	92,141	96,488	96,561	99,204	95,679	95,809								
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	76,150	55,136	76,212	72,412	72,102	65,176								
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	16,363	19,171	17,464	19,404	19,337	19,460							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	16,363	19,171	17,464	19,404	19,337	19,460								
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	75,778	77,317	79,097	79,800	76,342	76,349								
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	172
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		長寿応援ポイント運営委員会(運営懇談会)	19	回	618
		普及啓発(登録団体紹介冊子、ポイントシール印刷等)	544,500	部	2,671
		事務運営			75,651
		その他( )			
(2) 事業実績	<p>平成26年度末の登録活動件数は1,327件で、平成25年度末の1,267件から4.7%の増加となりました。</p> <p>平成26年度は事業登録団体紹介冊子を作成して各ゆうゆう館や保健センターに配布し、様々な活動の紹介と事業の周知を行いました。また、区役所1階ロビーで事業紹介展示を行いました。</p> <p>長寿応援ファンドを活用し地域の高齢者や次世代の活動を支援する8活動(平成25年度は7活動)に助成を行いました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>事業開始年度である平成21年10月の区内65歳以上人口は103,024人でしたが、平成27年4月現在では115,553人まで増加しています。</p> <p>そのうち介護保険認定者は23,862人となりました。平成26年3月の杉並区高齢者実態調査報告書によれば、65歳以上でボランティア活動を行っている高齢者は7.0%、趣味のサークルやクラブ活動を行っている高齢者は調査回答者の半数近く42.7%となっていて、両数値とも平成23年3月の報告に比べ増加しています。生活に生きがいを感じている高齢者は74.3%です。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>ポイントが配られることで「参加意欲が向上する」「新しい方も参加するようになった」「友人が増えた」など、大変好評です。ポイント交換で得た商品券は日々の買い物や健康・娯楽など様々な目的で活用されています。また、寄付をしていただいた方からは「社会の役に立てることがうれしい」との声があります。一方、ポイント交換の仕組みの見直しについて要望をいただいています。</p> <p>長寿応援ファンド助成を受けた活動団体からは、助成を受けたことにより「地域で様々な環境にある住民同志のつながりが強化できた」「活動を広げることで、若者が自分を見つめる良い機会となった」等の実施結果が報告されました。</p>			
	今後の予測	<p>杉並区の高齢化率は21%程度で推移していくことが予測されています。</p> <p>高齢者が地域に出て自らの知識や経験を生かし地域貢献活動などを行いながら、地域社会の様々な世代の人達と支えあい、いきいきと生活している社会を目指して事業を進めていきます。</p>			
評価と課題	<p>長寿応援ポイント事業活動登録団体数は、平成21年度の事業開始以来増加を続けており、多様な地域活動が行われています。</p> <p>高齢者を含めた多世代がつながり支え合っていく地域包括ケアの仕組みの中で、高齢者自身も元気で他を支え、お互い支え合っていけるよう事業を充実させていきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
今後の進め方	<p>地域包括ケアのお互いが支え合う地域づくりを進めるため、より多くの高齢者の方に参加してもらえるよう事業の周知、仕組みの見直しを進めていきます。</p>				

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00225）

事務事業名称 高齢者活動支援センターの維持管理			款 04	項 01	目 06	事業 012	整理番号 232					
現担当課名 高齢者施策課		係名 施設担当係		連絡先電話番号 1153		昨年度整理番号 225						
上位施策No・施策名 15 高齢者のいきがい活動の支援						予算事業区分 既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和58年度										
	平成26年度担当課名	高齢者施策課		事業評価区分		施設維持管理						
	対象	60歳以上の区民及び高齢者活動団体		根拠法令等 (1) (2)	老人福祉法第4条、第5条の3、第15条、第20条の7 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	多くの高齢者の施設利用によって、相互の交流を活発にし、社会参加の機会拡充を図る。 高齢者の自主的団体活動に対する支援によって、新たな生きがいづくりや仲間づくりを促進し、元気高齢者の増加に寄与する。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	団体利用回数							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	60歳以上の区民の福祉増進を図るため、各種相談や健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動の支援を目的に設置した高齢者活動支援センターの施設維持管理を行う。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明								
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画 実績		平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)			
指標	活動指標(1)	1	回	1,608	2,000	2,195	2,200	2,206	2,200	100.3		
	活動指標(2)	2										
	成果指標(1)	3										
	成果指標(2)	4										
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	69,094	69,406	69,405	71,614	70,762	70,782	平成26年度 予算執行率(%)	98.8	
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内) 委託費	7	千円	68,062	69,049	69,048	71,227	70,384	70,646			
	職員数	常勤職員数	8	人	0.31	0.31	0.36	0.41	0.43	0.41		
		再任用職員数	9	人	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費	常勤職員分	11	千円	2,697	2,675	3,107	3,612	3,788	3,612		
		再任用職員分	12	千円	786	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	72,577	72,081	72,512	75,226	74,550	74,394			
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15	円	45,135	36,041	33,035	34,194	33,794	33,815			
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	72,577	72,081	72,512	75,226	74,550	74,394			
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 232

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		運営管理（指定管理者）			70,351
		備品購入			174
		物品リース			113
		その他（需用費ほか）			124
(2) 事業実績	指定管理者による運営を行うため、指定管理料の支払いや物品の購入、リースなどを行い、指定管理者が施設運営をやりやすいようバックアップを行っています。また、高齢者が利用しやすい施設となるよう維持管理を実施しています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	指定管理者による管理に変更になってから3年が経過しました。区と指定管理者との役割分担も行われており、大きな問題もなく運営できています。今後はさらに指定管理者と区が連携し、高齢者が安全に活動できるよう運営を行う必要があります。また、高齢者のみではなく幅広い年齢層が利用・交流できる、にぎわいと活気ある施設とすることが課題です。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		



# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	233
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		光熱水費	32	館	32,656
		施設保守管理委託	32	館	18,867
		消耗品購入、修繕、家屋等修繕	32	館	8,975
		物品・機器リース	32	館	2,835
		その他(電話料金、備品購入費、負担金ほか)			4,418
	(2) 事業実績	ゆうゆう館の利用者が、安全かつ快適に施設の利用ができるよう、施設の修繕、施設保守管理委託などの維持管理を行うとともに、備品・消耗品などを購入しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測				
	評価と課題	<p>ゆうゆう館の施設・設備の維持管理を行うことで、安全かつ快適な施設の利用について貢献できました。築40年以上のゆうゆう館が半数を占め、老朽化に伴い必要な修繕が増えてくるため、今後も優先して行うべき、建物並びに設備の小修繕を精査しながら、安全で利用しやすい環境を維持することが課題です。</p> <p>また、区立施設再編整備計画の進行状況も確認しながら、建て替え予定と重複しないよう修繕や物品購入などを実施する必要があります。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00235）

事務事業名称 (暫定) ゆうゆう下高井戸館の整備				款	04	項	01	目	07	事業	026	整理番号	242	
現担当課名		高齢者施策課		係名		施設担当係		連絡先電話番号		1153		昨年度整理番号		235
上位施策No・施策名										15 高齢者のいきがい活動の支援		予算事業区分		投資事業
事務事業の概要	事業開始		平成25年度											
	平成26年度担当課名		高齢者施策課						事業評価区分		施設維持管理			
	対象		60歳以上の区民、高齢者団体、協働事業参加者		根拠法令等		(1)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例					
							(2)		老人福祉法					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		老朽化したゆうゆう下高井戸館の仮移転先として、高井戸第三小学校の敷地内に暫定施設を建設し、利用者が引き続き、快適に利用できる施設とする。		活動指標		指標名(1)		新築工事の進行状況					
								指標説明						
								指標名(2)						
								指標説明						
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		平成25年度に基本設計・実施設計を行う。 平成25～26年6月までに建設工事を行う。 設計から完成まで、地域住民及び利用者との意見交換に努める。		成果指標		指標名(1)								
								指標説明						
								指標名(2)						
								指標説明						
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	%	50	50	100	100	0	100.0					
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3												
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	22,974	17,500	29,057	28,900	0	平成26年度 予算執行率(%)	99.5				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	22,974	17,500	27,736	27,736	0						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	0.13	0.23	0.24	0.00					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	0	1,122	2,026	2,114	0					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	22,974	18,622	31,083	31,014	0						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	459,480	372,440	310,830	310,140	0						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0					
		その他の補助金等	19	千円	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0						
差引：一般財源(14-20)		21	千円	22,974	18,622	31,083	31,014	0						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 242

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		工事請負費			27,536
		物品等購入			1,165
		その他（建設事務費）			199
(2) 事業実績	平成25年度に着工し、業者等と打合せを重ね、平成26年6月に竣工しました。ゆうゆう館の移転の説明、新施設のお知らせなどを行い、平成26年8月から移転・開館を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	利用者や地域への説明などを行い、平成26年7月末に移転し、8月から新施設で開館しました。新しくなった施設に利用者からは概ね高い評価を得ています。今後、現在の下高井戸児童館へ再移転の計画となっているため、そのことに関する利用者及び地域への説明などを行っていく必要があります。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		